

「県史」活用可能資料及び展開例

1 活用資料・展開例に対応する、学習指導要領中学校社会科の目標と内容

目標

- (2)国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関係において理解させ、尊重する態度を育てる。
- (4)身近な地域の歴史や具体的事象の学習を通して歴史に対する興味や関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

内容

- (4)近世の日本
エ 産業、交通などが発達し、町人文化が都市を中心に形成されたことを理解させるとともに、地方の生活文化について着目させ、現在との結び付きについて考えさせる。

内容の取り扱い

- オ 日本人の生活や生活に根ざした文化については、各時代の政治や社会の動き及び各地域の地理的条件、身近な地域の歴史とも関連付けて指導するとともに、民俗学などの成果の活用や博物館、郷土資料館などの見学・調査を通じて、生活文化の展開を具体的に学ぶことができるようにすること。

内容の(4)については、

- エ エの「産業、交通などが発達」したことについては、身近な地域の特色を生かして学習することを中心にし、網羅的な取扱いにならないようにすること。また、「町人文化」については、代表的な事例を取り上げて特色を考えさせるようにし、網羅的な取扱いにならないようにすること。「地方の生活文化」については、身近な地域の事例を取り上げるよう配慮すること。

2 県史アンケート結果と対応する活用資料の項目

- | | |
|----------------|--------------------------|
| ・ <u>水害・治水</u> | ・ <u>地域の発展に尽くした先人の業績</u> |
| ・地域の残る文化財 | ・甲府空襲 |
| ・戦時下のくらし | ・戦国武田三代 |
| ・甲斐源氏 | ・身延山と日蓮 |
| ・幕末・維新の山梨 | ・天保郡内騒動 |
| ・ <u>富士川舟運</u> | ・甲府城・城下町 |

3 内容(4)「近世の日本」に該当する『山梨県史』

- 通史編3(近世1)
通史編4(近世2)
資料編8(近世1 領主)
資料編9(近世2 甲府町方)
資料編10(近世3 在方)
資料編11(近世4 在方)
資料編12(近世5 在方)
資料編13(近世6上 全県)
資料編13(近世6下 全県)

4 「近世の日本」活用可能資料(例)

学習指導要領該当項目	山梨県史	活用可能資料
(4) - 工		
産業・交通の発達	資料編10 ・第3章 農業と諸稼ぎ p 261 ~ 416 ・第4章 交通と地域社会 p 419~563 資料編11 ・口絵 青柳河岸絵図 / 甲州三河岸(青柳・鯉沢・黒沢)絵図 / 富士川水運絵図 / 紙漉職人絵図 / 早川渡船絵図 / 富士川渡船絵図 甲州三河岸と富士川水運 p 347 ~ 426 ・第3章 駿信・駿州往還と宿場 p 429 ~ 589 資料編12 ・第5章 甲州道中の交通と輸送 p 669~817 ・第6章 郡内の経済 p821~964 資料編13下 口絵 上り曳き船の図 / 復元された富士川舟運の様子 / 船食岩 / 船繋ぎ石 / 水行直仕形図絵 / 青柳河岸の御米蔵 / 富士川舟運に使用された高瀬舟 / 岩淵河岸古写真 ・第5章 塩と廻米 p277 ~ 500 通史編3 ・口絵 釜無川上空からみた信玄堤 / 狭中八珍果 / 紙漉の様子 / 甲州名産の柿 / 甲府の水菓子問屋と商品 ・第5章 地域の産業 p489~647 ・第6章 山 p651~769 ・第7章 治水と水利 p773~942	

5 展開(例)

* 対象となる時間 学習指導要領 内容(4)近世の日本 工 産業と交通の発達

株仲間・都市の繁栄などは今時の対象としていない。

* 所要時間 1時間(50分)

* 目標

- ・新田開発について、身近な地域の様子から、近世の農業生産の拡大について考え、表現することができる。
- ・龍王煙草等の商品作物の生産・流通の様子から、甲州道中と富士川舟運の交通網の発達を通じ、江戸・大阪との全国流通つながりを知る。また、地理分野とも関連し、現代山梨の果樹栽培の展開について考え、理解することができる。

図表資料は、パワーポイントと手元の学習プリント等で提示していく。

	学習の流れ	提示資料	生徒の活動
導入 5分	・「～新田」「～新町」という地名の場所が身近にないだろうか？	通史編 3 p865 「新居・新田・新町等地名」(表 7 - 9)	・既存知識や表から「竜王新町」「富竹新田」などの地名を思い出す。
展開 20分	<p>「新田開発」の概要を学習する。</p> <p>・表からどんなことがわかるでしょうか？</p> <p>年貢米の生産を増やし、米をより多く生産するために、当時の人々はどのような工夫をしたのだろうか？ 資料から牛匂堰、大袋堰(旧敷島町)の利用を知る。 農具・農法の開発、寒さに強い品種の改良</p> <p>・「龍王煙草」について知ろう。 山梨と言えば「ぶどう」「もも」でもそれ以外にもこんな隠れた名産があった！</p>	<p>通史編 3 p867 「宝暦高帳よりみた筋別高増加の様子」(表 7-10)</p> <p>通史編 3 p867 「『甲斐国誌』にみえる堰」(表 7 - 8)</p> <p>通史編 3 p552,574 第3節 煙草栽培の広がり</p>	<p>・表を活用し、石高が増加したことを知る。</p> <p>教科書や諸資料から考えて発表をする。</p> <p>同じ市内で生産されていた「龍王煙草」等について知る。</p>
展開 20分	<p>商品作物や年貢米の出荷ルートを学習する。</p> <p>・年貢米はどこに運ばれたのだろうか？地図で確認しよう。</p> <p>・絵を見てみよう。何をしているところでしょうか？ 「富士川舟運」について学ぶ。 下りは6時間、帰りは4日の舟運 数々の難所、石碑、角倉了以等 「上り荷」「下り荷」</p> <p>・県内の産物はどこへ運ばれていったのだろうか。</p>	<p>近世の県内主要交通図</p> <p>資料編 13下 口絵 石丸岳水画「上り曳船の図」</p> <p>廻船の航路図・大阪の蔵屋敷の挿絵など。</p>	<p>陸路(甲州道中/江戸へ)と水運(釜無川・富士川/清水 江戸)を地図で書き込み表現する。</p> <p>全国の航路や主な廻船、蔵屋敷等の基礎的な用語につなげ、全国流通と輸送路について理解する。</p>
まとめ 5分	<p>年貢米の生産とともに、商品作物の生産に力をいれた甲斐の国の産業や流通のようすをまとめよう。</p> <p>江戸に近い 市場への交通路の発達 自然条件(地形・扇状地・水利)</p>		<p>・稲作に適さない自然条件を越え、商品経済の波に甲斐の人々が乗っていったことに気づく。</p> <p>・現在の山梨県(果樹栽培、中央道、東京とのつながり)と比較し近世の産業・流通が今に生きていることを考える。</p>

【学習資料参考プリント】

甲州煙草の流通 県史「通史編3」近世1

- ・慶長期(1596～1615)に煙草が大流行。幕府は禁令を出すが無効なし。
- ・徳川綱重領下の甲府藩においても、酒造とともに禁令
- ・宝永二年 甲斐三郡で煙草栽培が盛ん。甲府家の「御用煙草」に。
- ・甲府町年寄 江戸桜田屋敷への年始挨拶の諸経費総額甲金4両3分3朱余
手土産代が甲金一両。総額の5分の1をしめる
- ・煙草問屋・・・城下の9大主問屋の一つ
(他は穀、小問物、布物、紙、茶、塩、肴、薬種)^{しびゃ}
- ・甲州煙草の名産地としては小松、和田、門前(甲府市)、石火箭、萩原、(甲州市)、薬袋(早川町)龍王(甲斐市)、など。
甲府近辺 甲府西部(中巨摩)
- ・扇状地をいかす。
- ・江戸時代後期には、葡萄に匹敵する生産額。
- ・市場・・・はじめは自家消費。のちに甲府城下、谷村城下、江戸へ。大阪、信州、尾張まで。「下り荷」
- ・ルート・・・甲州道中
甲府より東 江戸へ。 甲府より西 信州へ。 甲府より南 大阪、駿州(静岡)
葺崎宿(市)から青柳(増穂町)から富士川河港へ。
富士川舟運
龍王煙草 「きざみたばこ」ではなく「葉煙草」

通史編3 p865

「新居・新田・新町等地名」(表7-9)

資料編13下 口絵 石丸岳水画

「上り曳船の図」

(鯉沢町教育委員会所蔵)

表7-9 新居・新田・新町等地名

地名(郡名) 村 名	新居・新田 等を付す地名	新田・新町 等を付す地名	地名(郡名) 村 名	新居・新田 等を付す地名	新田・新町 等を付す地名
万力船(山梨)		山新田	篠原村	新居・中居	
覆屋村		新町	金井新田		香取新田
上岩下村	新居	新地	大下桑村		新田
新野村		新町	龍王新町		新田
栗原船(山梨)			龍王新町		
西後屋敷村			団子新居		
大石和船(八代)			宮久保村	中居船	
八田村	新居		遠見橋(巨摩)		
東新居村	○		小田川村		新田
狐新居村	○		夏目原新田		○
新巻村	新居		大蔵村		○
藤ノ木村		新田	袴神子新町		○
小石和船(八代)			塚川村		○
高栢村	新居		松向村		○
中瀬船(八代)			土普尾村	新居	
坊ヶ崎村		新田	谷戸村	北新居	
中瀬船(巨摩)			大八田村	下新居	
清津新居	○		西井出村	新居	
西桑村	下新居		箕輪村		新田
西桑新田		○	箕輪新町		○
上桑新居	○		付山北新田	新居	
押尾村		新田	浅尾新田		○
西篠原村	○	新宿	武川船(巨摩)		
鹿島新居	○		養尾新田		○
築地新居		○	青木村		○
山之神村	新居新居		島原村		○
今福新田		○	西郡船(巨摩)		○
高田新田		○	坂野新田	新居	
中郡船(山梨)			曲輪田		○
土阿部村	○		西野村	北新居・	
北山船(山梨)		新町	落合村	新居	
上飯田村		新田	長沢村		○
山崎村			飯沢村	新居	
平藤村	新居		西河内船(巨摩)		
下瀬船	新居		大堰村	新居	
北山船(巨摩)					
富竹新田		○			

(注) ○印は該等村名

(「甲斐国志」杜屋嘉五郎作)



石丸岳水画「上り曳船の図」(鯉沢町教育委員会所蔵)
明治三十年代の様子を描いたと思われる

甲州煙草の発展から見えること

- ・扇状台地の山村、畑作地帯(稲作条件の厳しい地域)において、過酷な自然条件をいかし、より経済性の高い商品作物を栽培し、より高い経済効果を生み出した。
- ・甲州道中、富士川舟運、生産と流通の両側面から刺激しあい、「商品作物」により、生産性の高い地域へと変貌。